



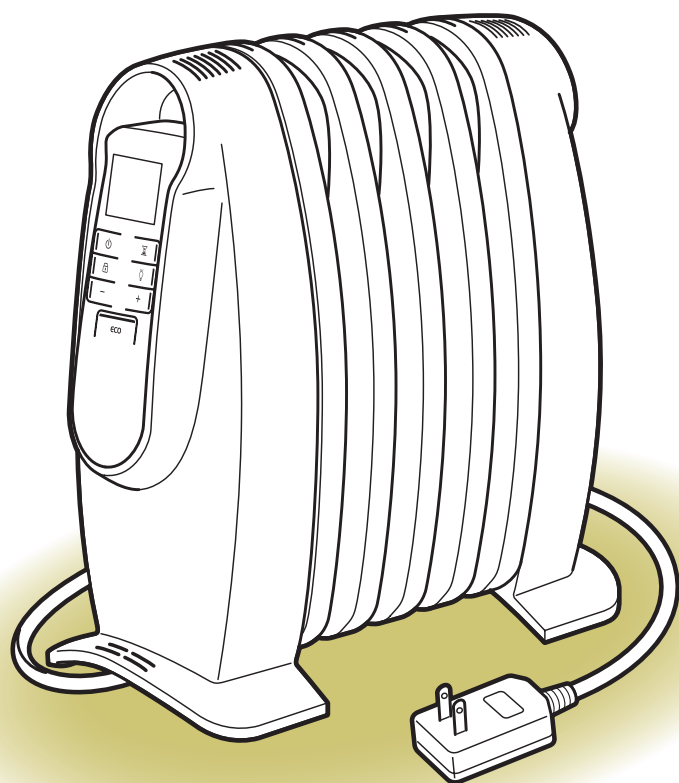
Electric Oil-Filled Heater デロンギ オイルヒーター

型式番号

NJ0505E

家庭用

※本体の型式番号「NJ0505E」の後に続く
ハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。



取扱説明書（保証書付）

この度は、デロンギ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

また、お読みになった後は、保証書（裏表紙）とともに大切に保管してください。本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

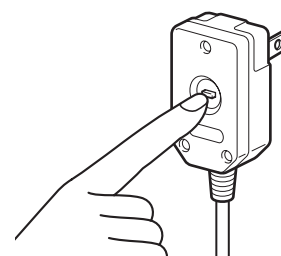
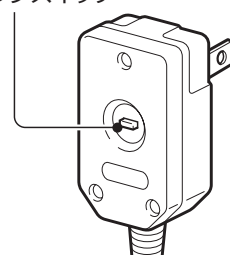
目次

安全上のご注意	2 ~ 3
設置場所	3
各部の名称とはたらき	4 ~ 5
暖房運転の基本操作	6 ~ 7
タイマー運転の方法	8
便利な機能について	9
故障かな?	10 ~ 11
お手入れ／保管のしかた	12
電源プラグ・コードの 安全チェックシート	13
仕様	14
アフターサービス	15
保証書	裏表紙

安全プラグの確認

ご使用になる際に、ヒーターの電源ボタンを押しても通電表示が点灯せず、ヒーターも暖かにならない場合は、電源プラグスイッチをカチッと音がするまでしっかりと押し込んでから、本製品をお使いください。

電源プラグスイッチ



特許第 4209907 号取得

安全上のご注意 < 必ずお守りください >

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



指示

電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的に取り除く
(火災の原因)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む
(火災の原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する
(火災・感電・やけどの原因)

故障・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

お子様や自分で本機の温度調整ができない方には必ず付き添う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

※ 小さなお子様、乳幼児、自分で温度調節ができない方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。



禁止

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない
(火災・やけど・けがの原因)

- 電源を取るコンセントのすぐ下で使用しない。
- テーブルや机の下で使用しない。
- スプレー缶などを本体の近くに置かない。

逆さ・横倒し・立てかけて使用しない
(火災の原因)

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない。
- コードを無理にひっぱらない。
- 本体表面など高温部や、他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社テクニカルセンターへ点検・交換を依頼してください。



禁止

電源コードをスタンドに巻き付けたまま使用しない

(火災の原因)

- 余った電源コードは残さずスタンドから解き、伸ばしたまま使用する。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。

運転中に電源プラグを抜き差ししない
(火災・感電の原因)

収納の際、電源コードをスタンドに強く巻かない
(火災の原因)

※ 12 ページ「収納・移動時の電源コードの巻き方」参照

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(感電・けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)



覆い掛け禁止

本体をふとんや衣類で覆わない

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途で使用しない。

安全上のご注意 < 必ずお守りください >



注意



指示

決められた設置方法に従う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

- 壁やコンセントから 20cm 以上離す。
- 人やペットおよび家具からは 1m 以上離す
- 毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災・感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う

(感電・けが・やけどの原因)

本体が転倒したときは使用を中止する

(火災・感電・けがの原因)

転倒時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターへ点検・修理を依頼してください。

電源プラグは、交流 100V のコンセントに根元まで確実に差し込む

(火災・感電の原因)



禁止

コンセントや配線器具の定格を超えた使いかたをしない

(火災の原因)

水・湿気の多い場所で使用しない

(火災・感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使用しない。
- 硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害のおそれのある場所で使用しない。

本体に水などの液体をこぼさない

(火災・感電の原因)

犬や猫などのペットの暖房に使用しない

(火災の原因)



接触禁止

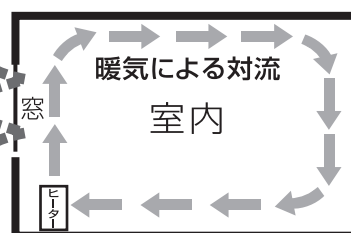
運転中および停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

ダウンドラフト対策：効果的な設置場所

室内で、特に冷気のダウンドラフト（冷気の侵入）が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

屋外（冷気）



各部の名称とはたらき

〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル（★）を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環し、L字型フィン（放熱板）で効率良く放熱、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。

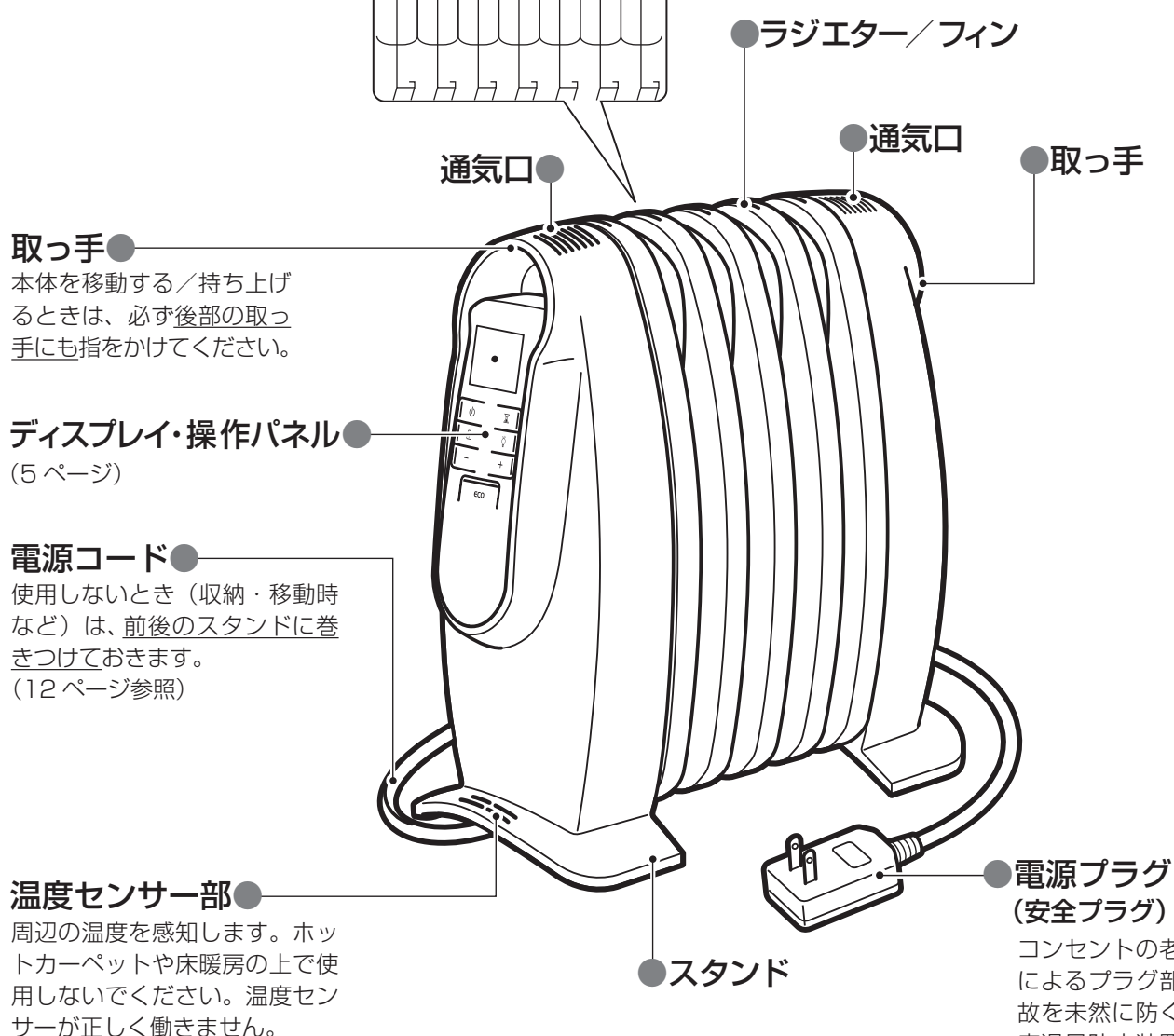
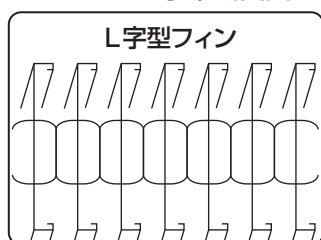
★オイルの補充・交換は不要です。

廃棄の際は、15 ページをご参照ください。

本体

ラジエーター水平断面図

L字型フィン



ヒーターを移動する際のご注意

必ず、両方の取っ手に指をかけ、本体を持ち上げて移動してください。

引きずると、床面や敷物を傷つけたり、スタンドが破損する場合があります。

各部の名称とはたらき

ディスプレイ



ご使用の前にディスプレイの保護シールを必ずはがしてください。

タイマー予約設定表示

タイマー予約設定時に緑色に点灯します。

チャイルドロック表示

チャイルドロックが設定されている際に表示されます。

(9 ページ参照)

運転表示

稼働状況に応じて点灯します。

稼働状況	表示
通常運転時またはエコ運転時で室温が設定温度より低い場合	赤で点灯
エコ運転時で室温が設定温度に近い場合	緑で点灯
電源プラグをコンセントに差し込んだとき	黄色で点灯 (2秒間のみ)

凍結防止機能設定表示

凍結防止機能が設定されているときに表示されます。

(9 ページ参照)

※通常使用時にこれらが同時に表示されることはありません。

(初回使用時に電源プラグをコンセントに差し込んだ時のみ)

通電表示

電源プラグをコンセントに差し込むと赤色に点灯します。

温度表示

温度設定および表示時に点灯します。

エコ運転設定表示

エコ運転時に表示されます。

(7 ページ参照)

タイマー予約時間表示

タイマーを設定している場合、設定した時間までの残り時間により表示が点灯または点滅します。

残り時間	表示
4～8時間	「8h」が点灯
2～4時間	「4h」が点灯
1～2時間	「2h」が点灯
1時間未満	「2h」が点滅

操作パネル

電源ボタン

運転の開始／停止を行います。

チャイルドロックボタン

チャイルドロック機能のオン／オフを切り替えることができます。

+／－ボタン

温度設定を変更するときに使用します。

タイマー設定ボタン

タイマーの設定および設定解除をするときに使用します。

液晶の明るさ設定ボタン

待機時（操作していない間）の液晶の明るさは3段階に設定できます。各ボタン操作中は最大の明るさで表示されますが、操作後約10秒後に設定した明るさに戻ります。

エコ運転ボタン

エコ運転に切り替えることができます。押すごとにエコ運転⇄通常運転と切り替わります。

ヒント ボタンを操作する際は、各ボタンのマーク付近を押してください。 ※押すときは、軽く本体を支えて押してください。

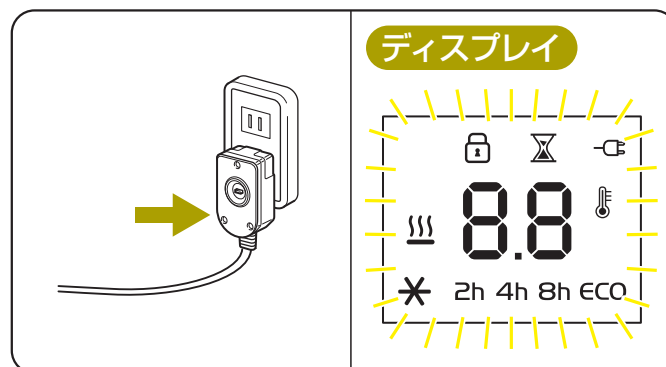
暖房運転の基本操作

1 電源プラグをコンセントに差し込む



壁面コンセントに根元までしっかりと入れてください。また、**電源コード**は、スタンドから解き、伸ばした状態でご使用ください。

通電表示が点灯し、ディスプレイが一時的にすべて点灯します。この時はまだ暖房は開始されません。

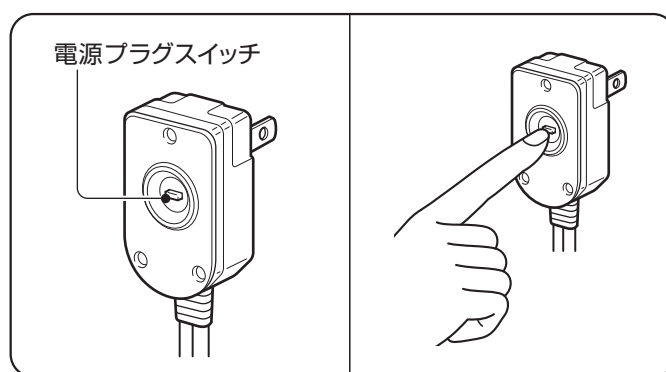


ディスプレイ



安全プラグを確認する

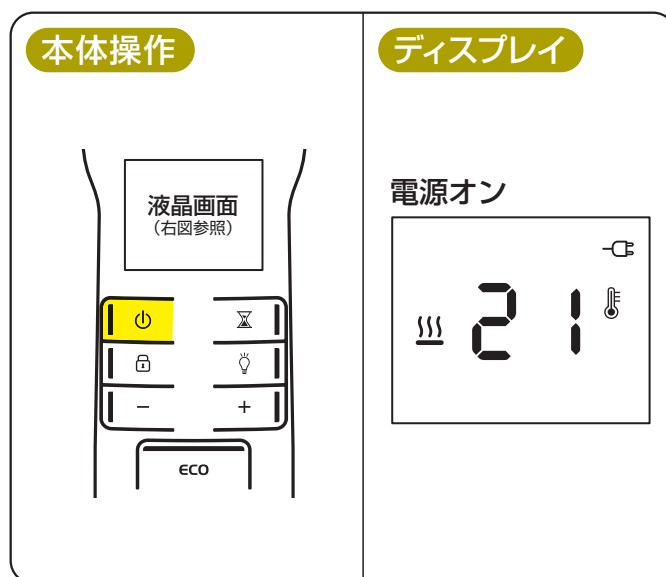
電源プラグスイッチが作動していると暖房運転ができません。電源プラグを差し込んでも通電表示が点灯しない場合、電源プラグスイッチをカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。



電源プラグスイッチ

2 電源を入れる

電源ボタンを押し、電源を入れます。電源を入れると、設定されている**温度**が表示され、運転を開始します。



本体操作

ディスプレイ

暖房運転の基本操作

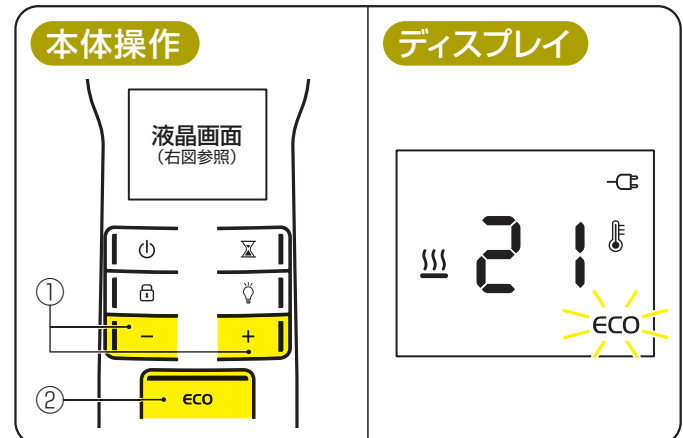
3 設定を行う

温度を設定する

+/- ボタンを押すと、温度が設定できます。温度は 10 ～ 28℃ の間で設定可能です。

運転モードを選択する

エコ運転ボタンで運転モードを選択します。エコ運転中は運転表示  の色でヒーターの運転状態を確認できます。



4 暖房運転を終了する

電源ボタンを押して電源を切ります。



長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

エコ運転

暖房運転は通常運転とエコ運転の 2 種類の運転モードから選べます。エコ運転は設定した温度より、ひかえめな温度（設定した温度より約 0.5 ～ 2℃ 低い温度）で運転することにより消費電力量を減らすモードです。

運転モード	温 度
通常運転	設定した温度
エコ運転	設定した温度より ひかえめな温度

タイマー運転の方法

設定した時間が経過したあとに暖房運転を開始または終了させることができます。
タイマーは 2 時間後、4 時間後、8 時間後の 3 段階で設定できます。

タイマーを設定する

電源プラグをコンセントに差し込み、通電表示が点灯している状態で操作してください。

なお、運転開始時間と運転終了時間を両方同時に設定することはできません。

運転開始時間を設定する場合：電源オフの状態で操作してください。

運転終了時間を設定する場合：暖房運転中に操作してください。

①タイマー設定ボタンを押す

2hマークが点滅します。

②時間を設定する

マークが点滅している間にタイマー設定ボタンを押します。

運転開始時間または運転終了時間を設定します。
タイマー設定ボタンを押すたびに、2h の点滅 → 4h の点滅 → 8h の点滅 → 点滅なし → 2h の点滅と表示が変わります。

③設定完了

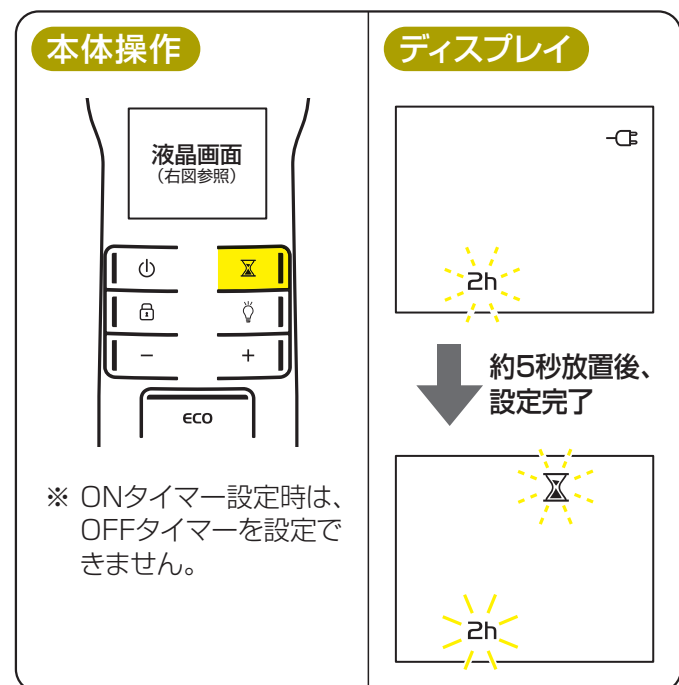
時間の設定が終わったら、液晶のタイマー予約時間表示が点滅しなくなるまで（約 5 秒）待ってください。⌚ マークが点灯すればタイマー設定の完了です。

タイマーを設定したい時間にあったマークを点滅させてください。

2h：2 時間後

4h：4 時間後

8h：8 時間後



タイマー設定を解除する

タイマー予約をしている状態（⌚ が点灯中）でタイマー設定ボタンを押すとタイマー予約が解除されます。
タイマー予約が解除されると、ディスプレイの ⌚ マークが消灯します。

ヒント タイマー設定表示について

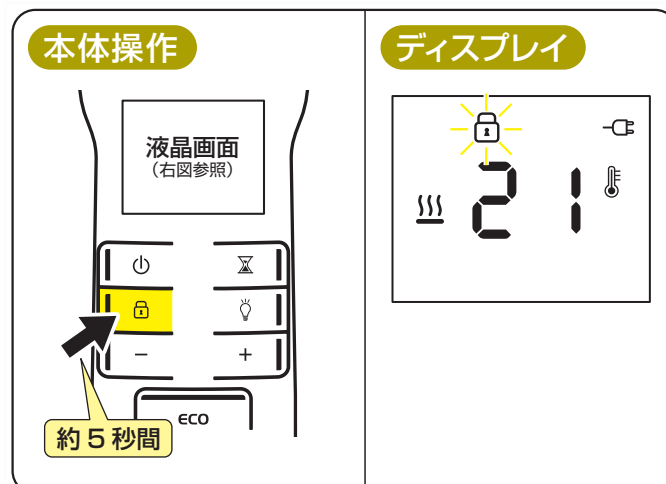
タイマーを設定している場合、設定した時間までの残り時間により表示が点灯または点滅します。

残り時間	表示
4～8時間	「8h」が点灯
2～4時間	「4h」が点灯
1～2時間	「2h」が点灯
1時間未満	「2h」が点滅

便利な機能について

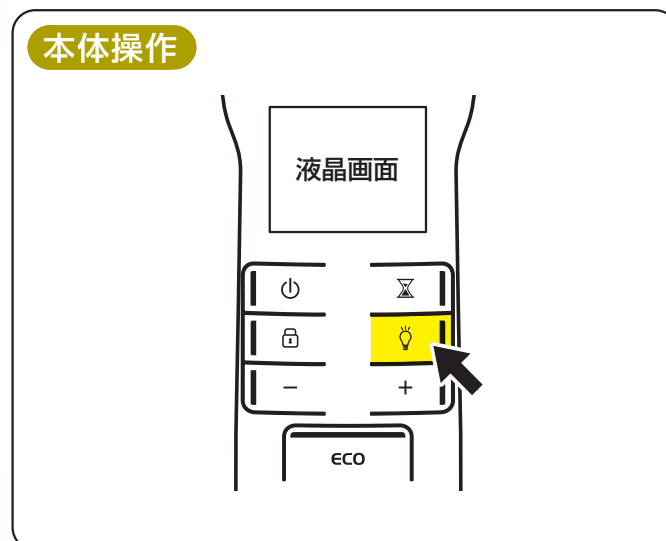
チャイルドロック

チャイルドロックボタンを約 5 秒間押し続けることで、「チャイルドロック」を行うことができます。設定時はディスプレイに🔒マークが表示され、操作ができなくなります。解除するには、同様の操作を行ってください。



液晶の明るさ設定

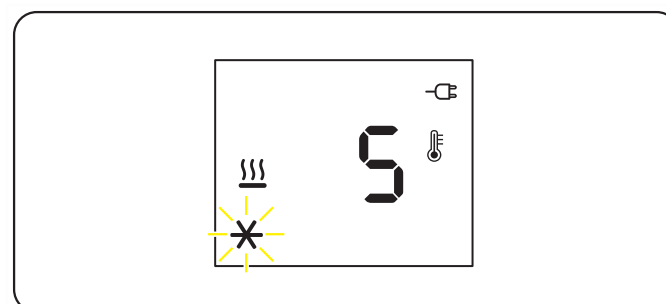
待機時（操作していない間）の液晶の明るさは 3 段階に設定できます。各ボタン操作中は最大の明るさで表示されますが、操作後約 10 秒後に設定した明るさに戻ります。



凍結防止機能

ヒーターには周辺の温度が 5℃以下になった場合に自動的に運転を開始し、植物等を凍結から保護する「凍結防止機能」が搭載されています。設定温度を「10℃」よりさらに下げること設定できます。

温度表示が「5℃」と表示され、❄️マークが点灯し、「凍結防止」が設定されます。



故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、電源ボタン押して電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 15 ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電源ボタンを押しても、暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	チャイルドロックが設定されている	チャイルドロックボタンを約 5 秒間押し、チャイルドロックを解除します。（9 ページ参照）
	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社テクニカルセンター（15 ページ）にご連絡ください。（詳しくは 6 ページ参照）
電源プラグをコンセントに差し込んでも通電表示が点灯しない	通電表示が故障している可能性あり	お求めの販売店または当社テクニカルセンター（15 ページ）にご連絡ください。
電源を入れても運転表示が点灯しない	運転表示が故障している可能性あり	お求めの販売店または当社テクニカルセンター（15 ページ）にご連絡ください。
	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	タイマー予約をしている	タイマー設定ボタンを押し、タイマーを解除します。
タイマー設定ボタンを押してもタイマー予約設定表示が点灯しない	タイマー予約設定表示が故障している可能性あり	お求めの販売店または当社テクニカルセンター（15 ページ）にご連絡ください。
	設定が完了していない	タイマー予約設定表示が点滅しなくなるまで（約 5 秒）待ってください。
タイマーで設定した暖房の開始時刻になっても、暖房が始まらない	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります	設定温度が低い	+ ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～ 1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。
	ホットカーペットや床暖房の上で使用している	ボタンを押し、設定温度を上げるか、もしくはホットカーペットや床暖房の上ではない場所に移動してください。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
ディスプレイに PF と表示された	転倒時自動電源遮断装置が働いている	ヒーター本体が傾いたときに起こる症状です。ヒーター本体を正しい向きに直して PF の表示が消えたか確認してください。万一消えない場合、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（15 ページ）にご連絡ください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
ディスプレイに Ht と表示された	内部の温度が上昇している	通気口を塞いでいるものを取り除いてください。内部が冷めると表示が消えます。しばらくしても通電しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（15 ページ）にご連絡ください。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取扱いください。 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社テクニカルセンター（15 ページ）にご連絡ください。
使いはじめの臭い		使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。
パチッパチッと音がする		外気との温度差によってラジエーター内部で発生した結露が熱くなったオイルに落ちたときの音です。異常ではありません。
まれに「カンカン」や「キーン」といった金属音がする		本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。

お手入れ／保管のしかた



- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない

お手入れ

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁との隙間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- 壁のコンセント（刃受）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやホコリは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。（13 ページ）

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。



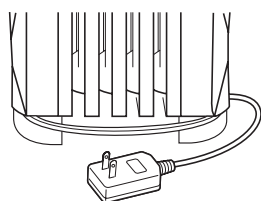
洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったホコリを取り除いてください。



- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置いたりしない。



収納時の電源コードの巻き方

前後のスタンドに巻きつけておきます。

※ 暖房運転をするときは、必ず電源コードをスタンドから外し、本体に触れないようにしてください。



電源コードをスタンドに強く巻かないでください。

電源プラグ・コードの安全チェックシート

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

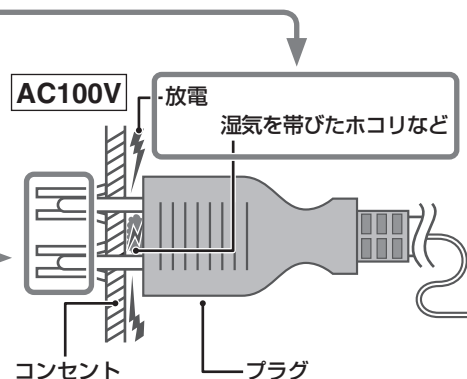
■トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにホコリが溜まると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

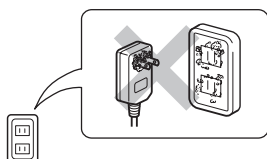
トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます(12ページ参照)。

■電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形・変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



☑ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？



電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

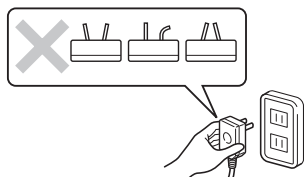
定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。

☑ 電源コードに重いものが載っていませんか？

家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。

☑ 電源プラグが変形していませんか？



曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受けを変形させる原因となります。

ペンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社テクニカルセンターにプラグの交換をご依頼ください。

☑ 電源コードを束ねたままではありませんか？

ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度(約40℃)になります。電源コードを束ねたままでお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

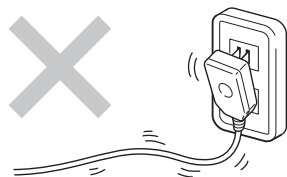
余った電源コードは残さずスタンドから解き、伸ばしたままお使いください。

☑ 電源コードをスタンドに強く巻きつけすぎていませんか？

電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

電源コードをスタンドに強く巻きつけないでください。

☑ コンセントにガタツキはありませんか？



刃受けのばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

☑ コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用していませんか？

コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用すると、発熱による発火の恐れがあります。

コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用しないでください。

仕 様

製 品 名 称	デロンギ オイルヒーター		
型 式 番 号	NJ0505E		
適 用 畳 数	3 畳まで		
	電 圧 / 周 波 数	交流 100V / 50/60Hz	
	消 費 電 力	500W	
外 形 寸 法 / 質 量	長さ 37.5cm ×幅 17.5cm ×高さ 38.5cm / 5.5kg		
安 全 装 置	転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置（本体内）・ 復帰型温度過昇防止装置（電源プラグ内）		
原 産 国	中国		

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



お知らせ

当社の WEB サイトでは、オイルヒーターをより効果的に
使う方法や電気代の目安となるシミュレーションなどを
ご案内しています。



オイルヒーター特設サイト
<http://oilheater.delonghi.co.jp/>

アフターサービス

使用中に異常(★)が生じた場合

直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな?」(10～11ページ)で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 操作パネルや放熱板に、水などの液体をこぼした
- 本体に強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合

保証書に記載されている販売店に、「① お買い上げ日」、「② 製品名称と型式番号」、「③ 故障の状況」をご連絡の上、修理をご依頼ください。
※ 宅配便等を利用して当社テクニカルセンター(下記)に直送される場合は、必ず故障の状況を記載したメモを同封くださるようお願いいたします。

※ 修理品の送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

※ 保証規定については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

まごころ点検について

長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。



保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター(下記)にお問い合わせください。

デロンギ再資源化システムについて

ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンター(下記参照)までお送りください。

素材ごとに分別し、再資源化いたします。



- **送料について**：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。
 - **梱包について**：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。
- ※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。
※ 送り先については、事前にお電話またはホームページ(下記)にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または当社テクニカルセンター(下記)にお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～17:00)

コールセンター Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ(URL) — <http://www.delonghi.co.jp/support>

保証書（共通）

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持 込 修 理

製品名：デロンギ オイルヒーター		型式番号：NJ0505E	
お客様	ご氏名：	様	TEL： — —
	ご住所：〒		
販売店	※店名・住所・TEL：		
	印		
※お買い上げ日： 年 月 日		保証期間：お買い上げ日より3年間	保証対象：本 体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社テクニカルセンターに直接ご相談ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - ヘ. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパン テクニカルセンターにお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■修理メモ

デロンギ・ジャパン株式会社 テクニカルセンター

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

コールセンター Tel. 0120-804-280

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。